



## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-1-3		事業名	伝統文化保存伝承事業			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
補助対象活動数		2件	2件	2件	2件	2件	2件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 本事業実施により、伝統文化にゆかりのある市民等がその保存伝承活動に継続して取り組んでいくことが可能となり、市民活力や伝統文化に対する保護思想の向上に寄与している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 伝統文化保存伝承の支援を目的とした本事業を実施し、また、ホームページ等での情報発信を通じて、市民等が伝統文化に参加・鑑賞できる機会の創出に繋げている。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成19年度の伝統文化の見学者・参加者については、例年多数の参加が見込まれる丘珠獅子舞の奉納日が雨天だった影響もあり、前年度の約半数となったが(丘珠獅子舞参加者:平成18年度2,000人、平成19年度1,000人、アシリチェップノミ参加者:平成18年度300人、平成19年度291人)、平成20年度は再び2,000人代を記録し(丘珠獅子舞参加者:平成20年度2,000人、アシリチェップノミ参加者:平成20年度314人)、平成21年度についても参加者は2,000人を超えている(丘珠獅子舞参加者:2,000人、アシリチェップノミ参加者:304人)、さらに平成22年度においても参加者は2,000人を超えている(丘珠獅子舞参加者:2,000人、アシリチェップノミ参加者:295人)。</p> <p>今後も後継者の育成や市民等の参加・鑑賞機会の充実のため、保存団体に対する支援を継続する必要がある。</p>				<p>伝統文化の保存に努める団体の活動を継続発展させるため、広く市民等に事業の周知を図り、保存伝承の気運をより一層高めていく必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>保存団体による自主的な事業実施に支障が生じないよう、引き続き補助金交付による財政支援を図る。 伝統文化の実施に対する支援だけでなく、保存伝承の重要性を広く知らせる方法を検討する。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-1-3			事業名	伝統文化保存伝承事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳	国・道支出金								
		市の債								
		その他の他								
予算	事業費	1,250	1,250	1,250	1,250	5,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の他	0	0	0	0				
実績	事業費	1,250	1,250	1,124	1,250	4,874				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の他	0	0	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										